

令和 7 年度

「運営に関する計画」

大阪市立我孫子中学校
令和 7 年 4 月

1 学校運営の中期目標

現状と課題

昨年度は、以前見られた校内の「荒れ」は収まり、生徒たちは落ち着いた状態で学校生活を送ることができた 1 年であった。文化発表会や体育大会など、学校行事にクラスや学年、またその枠を超えて協力し、取り組む姿があらゆるところで見ることができた。

しかし、それに比して学力を上げることはかなわなかった。平均無答率の減少や、正答率 3 割以下の減少といったところに成果は見られたが、全体として前年を超える結果を出すことができなかつた。ICT の効果的な使用法や授業研究等、来年度に向けて更なる県産が必要である。

不登校傾向にある生徒は、前年度と同程度で推移している。SSW や SC 等外部機関とも連携し、きめ細やかな対応に努めてきた。改善傾向にある生徒も出てきている。引き続き、生徒の自己有用感や自己肯定感を高める活動や、多様性を尊重する取り組み等を通じて、学校を「安心できる居場所」とする取り組みを進めていく。

中期目標**【安全・安心な教育の推進】**

- 毎年度末の校内調査において、不登校の生徒の割合を、毎年、前年度より減少させる。
- 令和 7 年度の校内調査の「学校の規則を守っていますか」に対して肯定的に回答する生徒の割合を 98% 以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 令和 7 年度の大坂市英語力調査の中学校卒業段階での CEFR A1 レベル相当以上の英語力を有する生徒の割合を、60% 以上にする。
- 令和 7 年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査の「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」の項目について、最も肯定的に答える生徒の割合を 60% 以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- 令和 7 年度末の校内調査の「日々の学校活動の中で学習者用端末を活用している」の項目について、「ほぼ毎日」と答える生徒の割合を、100% にする。
- 第 2 期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準 2 を満たす教員の割合を、令和 7 年度末に 84.9% にする。
(基準 2…1 年間の時間外勤務時間が 720 時間以下、時間外勤務時間が 45 時間を超える月数 6 以下、時間外勤務時間が 100 時間を超える月数 0、直近 2~6 か月の時間外勤務時間の平均が 80 時間を超える月数 0、をすべて満たす)

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【安全・安心な教育の推進】

- 年度末の校内調査における、不登校生徒の在籍比率を前年度(6.7%)より減少させる。
- 年度末の校内調査における「学校の規則を守っていますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を97%以上にする。(前年度96.7%)

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 大阪市英語力調査におけるCEFR A1 レベル相当以上の英語力を有する中学3年生の割合(4技能)を56.0%以上にする。(前年度47.8%)
- 年度末の校内調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する生徒の割合を61%以上にする。(前年度60.4%)

【学びを支える教育環境の充実】

- 授業目において、生徒の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。
- 第2期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間に関する基準2を満たす教職員の割合を70%以上にする。

3 本年度の自己評価結果の総括

(様式 2)

大阪市立我孫子中学校 令和 7 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標 1 安全・安心な教育の推進】</p> <p>○年度末の校内調査における、不登校生徒の在籍比率を前年度(6.7%)より減少させる。</p> <p>○年度末の校内調査における「学校の規則を守っていますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を97%以上にする。(前年度 96.7%)</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【1、安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>教育相談・校内アンケートを年2回実施する。</p>	(生徒指導部)
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年度末の校内調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を97%以上にする。 	(前年度 96.1%)
<p>取組内容②【1、安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>週1回以上集会を実施し、「学校生活」について講話をする。</p>	(生徒指導部)
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年度末の校内調査における「先生は、自分の間違った行動には厳しく指導してくれる。」に対して、肯定的な回答をする生徒の割合を前年度よりも増加させる。(前年度 96.1%) 	
<p>取組内容③【2、豊かな心の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・将来の夢や希望を持てるようなキャリア教育を充実させる。芸術鑑賞を実施し、他者を思いやることのできる豊かな心を育成し、自己有用感や自己肯定感を高める。 	(生徒指導部)
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年度末の校内調査における「人の役に立つ人間になりたいと思う。」に対して、肯定的な回答をする生徒の割合を90%以上にする。(新規質問項目) 	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

(様式 2)

大阪市立我孫子中学校 令和 7 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した B : 目標どおりに達成した C : 取り組んだが目標を達成できなかった D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった	
年度目標	達成状況
<p>【最重要目標 2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>○大阪市英語力調査における CEFR A1 レベル相当以上の英語力を有する中学 3 年生の割合(4 技能)を 56.0%以上にする。(前年度 47.8%)</p> <p>○年度末の校内調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する生徒の割合を 61%以上にする。(前年度 60.4%)</p>	
<p>年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標</p> <p>取組内容①【4、誰一人取り残さない学力の向上】 国語、数学、英語における習熟度別少人数授業を展開し、きめ細かな指導をする。</p> <p>(教務部)</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和 7 年度のチャレンジテストの正答率 3 割以下の生徒を、どの学年も令和 3 年度より減少させる。 <p>取組内容②【4、誰一人取り残さない学力の向上】 C-NET と連携し、各学年月に 3 回程度の C-NET との授業を行い、英語に対する興味関心を醸成するとともに 4 技能の向上を目指す。</p> <p>(教務部)</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 本校を準会場とした英語検定を複数回実施する。 <p>取組内容③【5、健やかな体の育成】 月 1 回、「食育だより」を発行する。また、食堂での展示食やホワイトボードでの啓発活動を通じ、食に関する意識を高める。</p> <p>(健康安全教育部)</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 年度末の校内調査における「朝食を毎朝食べている。」に対して、肯定的な回答をする生徒の割合を前年度より増加させる。(前年度 89.3%) 	進捗状況
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

(様式 2)

大阪市立我孫子中学校 令和 7 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した B : 目標どおりに達成した C : 取り組んだが目標を達成できなかった D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった	
年度目標	達成状況
<p>【最重要目標 3 学びを支える教育環境の充実】</p> <p>○授業日において、生徒の 8 割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の 50%以上にする。</p> <p>○第 2 期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間に関する基準 2 を満たす教職員の割合を 70%以上にする。</p>	
<p>年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標</p> <p>取組内容①【6、教育DXの推進】 各教科において、ICT 機器を活用した授業を展開する。</p> <p>(ICT 委員会)</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業日において、生徒の 8 割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の 50%以上にする。 	進捗状況
<p>取組内容②【6、教育DXの推進】 授業内容を Teams に投稿する。</p> <p>(教務部)</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒の提出物（ノート、学習プリント等）の提出率を 90%以上にする。（前年度 89%） 	
<p>取組内容③【7、人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 行事予定に「ゆとりの日」を入れ、教職員の働きやすい環境を整備する。</p> <p>(管理職) A</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 毎月複数回「ゆとりの日」を設定する。 	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	